

会 議 結 果 （ 報 告 ）

件 名	令和4年度 第1回中野市子ども読書活動推進連絡会議
日 時	令和4年5月24日（火）午後3時30分から午後4時15分まで
場 所	中野市役所5階 会議室 52、53
出席者	<p>【委員】小島佐和子委員長、小高恵利子委員、西澤由里恵委員 東谷洋子委員、山本裕里恵委員、田中千尋委員、池田陽子委員、 牧野明子委員、浦野たけ美委員、佐野武雄委員、小林薫委員、 畔上春香委員、常田鮎美委員（13名）</p> <p>【事務局】戸田生涯学習課長兼図書館長、佐々木課長補佐兼生涯学習推進係長、 中山主事</p>
会議概要	<p>1 事務局から 市職員の委員の変更があったため報告。</p> <p>3 報告事項 (1) 令和3年度事業実績について 第3次中野市子ども読書活動推進計画の令和3年度における事業実施結果を報告した。</p> <p>4 協議事項 (1) 令和4年度事業計画（案）について 第3次中野市子ども読書活動推進計画の令和4年度における事業計画案について説明をおこない、委員へ諮り承認された。</p> <p>【意見・質問】 意見① 「大人が薦める『10代のきみに、大人になる前に読んでもらいたい本』（仮）だが、今子どもたちの読書環境は大変な時代になってきていると痛感している。本を読んでおくというのは世間的によく言われており、自分が好きな分野以外の本を大人から薦めてもらおうと、新たな発見があるのでいいと思う。ただし、応募対象が広すぎる印象である。関心あるのは現役の子育て世代というよりはもっと上の世代が子どもに読んであげたらいいと思うのが多くなると予想される。また、世代が二つ違うと今の子供に通じることかわからない部分もある。 大人が子供たちのために本を選んでくれるという姿勢は大切だと思うので、ぜひ協力いただきたいと思う。</p> <p>質問① これは、完成版はチラシというかたちですか？ 回答① 四半期ごとに配布する啓発チラシのなかに一つのコーナーとし</p>

- て掲載できるくらいになればいいなと思っている。
- 意見① 仮に裏面一面だと仮定して、実際に十代の子供たちに訴えかけるようなものにするのか、大人に訴えかけるものにするか？
イメージとしては、本と紹介する人の写真から吹き出しが出て紹介コメントを100字以内でまとめるなら、子どもの興味がわくと思う。
- 補足① 子どもたちの一番の興味はティックトックの10秒動画の世界。
パッと見てわかるものに興味が出たら、読む人は読む。訴求性のある紙面を作してほしい。
また、今の中学生の子供たちがすごく本を読む印象。図書館の借り方をレクチャーしたときに本をすぐ決められる子とそうでない子でわかれるが、それが今年は少ない気がする。小学校からの取り組みの成果が出てきているのでは。なので、興味を引くことができるような掲載方法をすれば、朝読書を毎日やっているのを見てくれると思う。
- 意見② 応募された本が学校や図書館にあるものならよいが。
今どきの子どもたちに響くような掲載方法をしてほしい。
- 意見③ どこのだれかわからない大人の紹介した本よりは、芸能人や有名人がメディアなどで紹介している本を載せたほうが、とっかかりとして興味を引きやすいのでは。そこから近所や市の職員などに広げていったほうがいいのではないかと。有名人の名前を勝手に使うのがNGとかであれば考える必要があるが。
- 回答③ 何年前か前に、中野市にゆかりのある人のおすすめした本を紹介していたころがあったが、見る人は見るかもしれない。

(2) 令和3年度実施状況調査結果及び令和4年度活動目標について

第3次中野市子ども読書活動推進計画の令和3年度における子ども読書関係機関の実施状況調査結果の報告、及び事務局で設定した令和4年度の活動目標(案)の説明を行った。説明後、委員へ諮り承認された。

実施状況調査結果及び活動目標は後日、市内の子ども読書関係機関へ紙面にて周知する旨を説明した。

【意見・質問】

- 意見① 子育て支援センター、児童センター、放課後児童クラブ、こういうところにはチラシを配るだけ？
子育て支援センターには本のことをわかっている先生が在籍しているが、それ以外の施設は乏しいように思う。支援が行き届きにくいのでは。
- 回答① 放課後児童クラブなど、希望する施設にはなるが、どこでも図書館を利用していただいている。

意見① やはりいろんなところも手厚く支援していかないと難しい。そこらへんもよく考えてほしい。貸し出し冊数はわかって、どんな本が一番借りられているのか、もう少し深堀りしてほしい。また、どんな本を読むべきか、司書に相談することができるので、ぜひ子どもたちに本を読んでもらえる取り組みに結び付けてほしい。

意見② 子どもたちを取り巻く環境が、一人一台タブレットを持っている状況である。子どもとネットがつながっている状態で読書推進をするといったときに、正直なところ本を読むよりタブレットを見たほうが楽しいということがある。今までどおりの読書推進活動でいいのかなと疑問に思う。図書館も利用しましょうというだけで、コロナ禍のように利用できる状況ではなくなっている。そこに電子書籍の案内も来ており、タブレットがあれば本が読めるという状況下で、子どもたちの取り巻く状況をきちんと考慮しなければならないのではないか。

意見② ただ、電子書籍も朝読書の時間に見てよいというのでは、先生がいちいち生徒や児童の様子を見ることは非常に難しいので、電子書籍も可とするのは難しいと思う。タブレットだけ与えても脳の記憶力に差が出るという実証結果もあるので、読書のメリットやなぜ必要なのかを大きくアピールすべき。
実際にそういう啓発本があるので、図書館にもそういう本を置いてもらったほうがいいのか。

質問③ タブレットは学校に置きっぱなしか？

回答③ 学校によるが、学級閉鎖になると持ち帰るところもあるようです。

意見③ 保護者の目が届くかどうかが問題。子どもたちの性被害は数多く、インターネットとの付き合い方を考えていく必要があるので難しい。学校では電子図書も入れるかどうか難しいのでは。

令和4年度ブックリスト改訂について

【意見・質問】

質問① ブックリストだが、専門家の意見を取り入れながら作成した。0～6歳のリストを作成しており、そこから続くようなものになっている。子どもの発達にもよるので、0歳からずっと読んでもらうと良いブックリストになっている。そういう意図もあるということをきちんと広報して説明してほしい。0歳からのブックリストは今いる委員さんに配っていますか？

回答① 0歳は持ってきていませんが、昨年度の会議でお配りしています。

質問① 昨年度の委員と交代している人もいますので配ってほしい。委員の皆さんも内容をしっかり見ていただいて、0歳から順にみていくと良

いというコンセプトで作成しているのご承知ください。

補 足① 大変な時代になってきていると思うが、小学校中学校くらいは紙ベースの本で楽しみながら読むというのがとても大切ではないかと思うので、先生の意見も取り入れながらブックリストを作成していただきたいのでよろしくお願いします。

5 その他

質 問① 委員の方に質問ですが、市立図書館に何回足を運んでいますか？
5回以上行く人は？

意 見① 図書館へ行っていただくこともこの会議の一つの意義だと思いますので、図書館の現状をいろんな視点で見えていただいてご意見をいただきたい。

質 問② 図書館へ行って何か感じたことはありますか？

回 答② うちの子の通学している学校では、メディアコントロール週間というのがあり、その週間だけでも家族ぐるみで図書館へ向かうときがある。子どももいろんな分野の本に興味を持ち始めている年頃なので、夢や将来なりたいことを探している。様々な年代が本を探せる場所であってほしい。児童書コーナーと大人のコーナーで分かれているので、親は親の立場で、子は子の立場で本を選べるのはいい場所だと思う。

回 答③ 閉架図書が多いように感じる。司書の方がご多忙な様子で、利用者が声をかけづらい場面などを見かけたことがある。

補 足③ そういう時は遠慮なく司書に声をかけてほしい。それが仕事なので。

連 絡① 図書館副館長の佐野でございます。県立図書館と県内市町村の図書館が共同して電子図書館の取り組みをしているところであります。中野市も準備中ですが、今年の8月上旬から県内一斉にオープン予定であります。以上です。

(別紙) 会議の出欠席状況

中野市子ども読書活動推進連絡会議委員名簿 委員名簿

(任期 令和3年5月1日から令和5年4月30日)

氏名	選出区分	所属団体等	備考
小島 佐和子	読書ボランティア	おはなし♡びっくりばこ	出席 (委員長)
小高 恵利子	教育関係者	教育委員会事務局学校教育課	出席
西澤 由里恵	教育関係者	中野平中学校	出席
東谷 洋子	教育関係者	豊田小学校	出席
山本 裕里恵	教育関係者	中野中央幼稚園	出席
竹節 ゆかり	保育関係者	ひよこ保育園	欠席
田中 千尋	保育関係者	子ども部保育課	出席
池田 陽子	保育関係者	子ども部保育課 (松川保育園)	出席
牧野 明子	子育て関係者	子ども部子育て課 (青少年未来係)	出席
浦野 たけ美	子育て関係者	子ども部子育て課 (北部子育て支援センター)	出席
佐野 武雄	図書館関係者	中野市立図書館	出席
小林 薫	図書館関係者	中野市立図書館	出席
清水 幸美	公募に応じた市民		欠席 (委員長代理)
畔上 春香	公募に応じた市民		出席
常田 鮎美	公募に応じた市民		出席